

平成 19 年度
環境省中部環境パートナーシップオフィス
運營業務報告書（10-12 月期）

平成 20 年 1 月 31 日

特定非営利活動法人 ボランティアネイバーズ

【環境省中部環境パートナーシップオフィス 平成19年度10-12月期 事業報告】

【事業報告】

○Ⅰ 協働提案事業、Ⅱ 重点テーマ事業（次世代応援・ESD 普及啓発）、Ⅲ 地域リクエスト事業（企業・行政・環境パートナーシップ）において、多様なプログラムを展開し、場づくり、人と人をつなぐ役割を担ってきた。生きた事例から「環境パートナーシップ」を促進する際の課題、有効性、重要ポイントを検証するために、小さな事業・活動ではあるが積み重ねている。

○Ⅳ 通常業務 情報基盤整備

① 情報収集

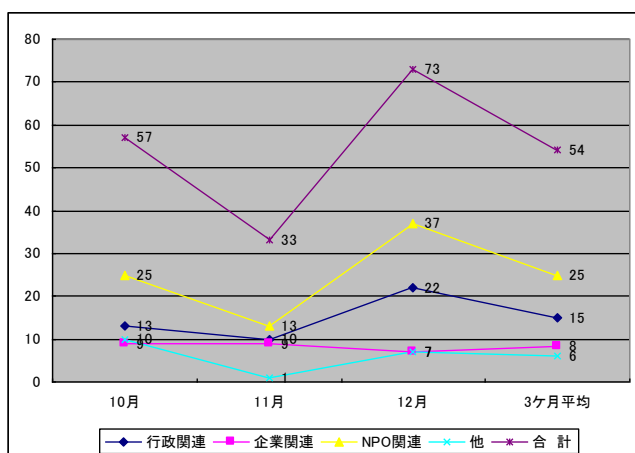
環境省の施設であるにもかかわらずまだまだ行政の資料が少ない。収集方法を検討する余地がある。

	10月	11月	12月	3ヶ月合計	3ヶ月平均
行政関連	13	10	22	45	15
企業関連	9	9	7	25	8
NPO 関連	25	13	37	75	25
他	10	1	7	18	6
合 計	57	33	73	163	54

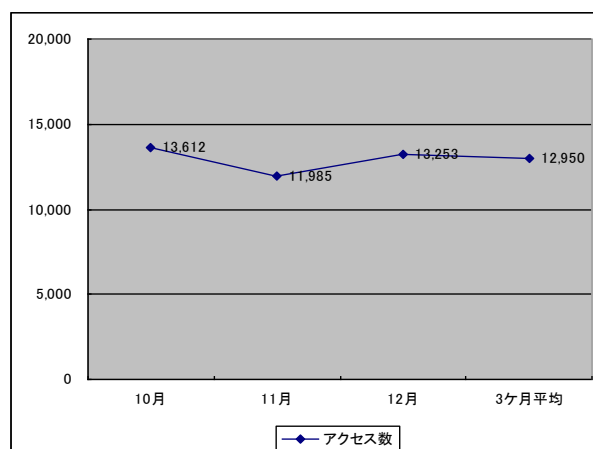
② ホームページアクセス数

アクセス数は横ばいである。事業実施に追われ、報告掲載が遅くなる傾向にあるが、解消していきたい。アクセス数アップについても検討の余地がある。また双方向コミュニケーション媒体の検討も始めたい。

	10月	11月	12月	3ヶ月合計	3ヶ月平均
アクセス数	13,612	11,985	13,253	38,850	12,950



1月平均資料収集数

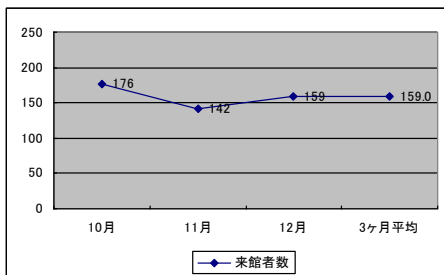


ホームページアクセス数

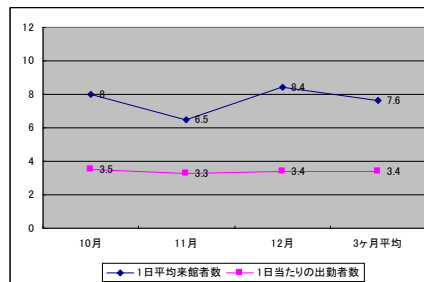
○IV通常業務 オフィス運営管理

来館者は1日平均7名程度。問い合わせ数、来館者数とも横ばいである。来館の内容がコンサルティングが多いため、一人当たりの対応時間が非常に長くなっている。オフィス機能が主なので、現段階においては来館者を伸ばすことにあまり力を注いでいないが、環境パートナーシップ事例を蓄積し、行政や企業、NPOから協働やパートナーシップについてのコンサルティング業務が増えるよう、情報発信していくことが課題としてあげられる。

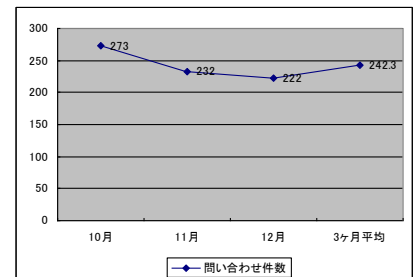
	10月	11月	12月	3ヶ月合計	3ヶ月平均
開館日数	22	22	19	63	21.0
来館者数	176	142	159	477	159.0
1日平均来館者数	8	6.5	8.4	22.9	7.6
問い合わせ件数	273	232	222	727	242.3
1日当たりの出勤者数	3.5	3.5	3.4	10.4	3.5



来館者数



平均の来館者数・出勤者数



問合せ数

【環境省中部環境パートナーシップオフィス 平成19年度10月事業報告】

【10月事業全般】

平成19年度中部環境パートナーシップオフィス運營業務（10月）は、下半期に入り、事業の進捗状況の確認、事業計画および予算の見直しを行いつつ、事業展開を図った。

【10月事業/会議日程】

事業区分	日程	業務内容	担当者
Ⅱ重点テーマ ESD	10月1日	環境省 ESD モデル事業担当者会議	桜井
Ⅱ重点テーマ ESD	10月4日	中京大学金ゼミ参加	桜井
Ⅱ重点テーマ ESD		なごや国際センターワールドコラボフェスタ会議	桜井 新海
Ⅱ重点テーマ ESD		かすがい KIZUNA 会議	桜井
Ⅲ地域リクエスト 行政	10月5-6日	環境首都コンテスト中部ミーティング IN 飯田	新海・鶴飼
Ⅱ重点テーマ ESD	10月11日	森林文化アカデミーESD講座	新海・宇野
Ⅲ地域リクエスト 企業	10月17日	東邦ガス(株)エコクッキング打ち合わせ	新海・桜井
Ⅲ地域リクエスト 行政	10月18日	21世紀環境立国セミナー出演者打合わせ	新海・鶴飼
Ⅱ重点テーマ ESD	10月18日	ESD-T 会議	桜井・宇野
Ⅱ重点テーマ 次世代	10月19日	志講座	宇野・新海
Ⅲ地域リクエスト 行政		21世紀環境立国セミナー出演者打合わせ	新海・鶴飼
Ⅲ地域リクエスト 企業	10月21日	東邦ガス(株)エコクッキング	桜井・新海
Ⅱ重点テーマ ESD		ワールドコラボフェスタ説明会	桜井・新海
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	10月23・24日	全国 EPO 連絡会	新海・鶴飼
		NGO/NPO 企業環境政策提言推進委員会打ち合わせ	新海・鶴飼
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	10月25日	なごや環境大学講座チーム会議	新海
Ⅲ地域リクエスト 行政		21世紀環境立国セミナー出演者打合わせ 21世紀環境立国セミナー	新海・鶴飼
Ⅱ重点テーマ ESD	10月27・28日	ワールドコラボフェスタ	桜井・新海 宇野・鶴飼
Ⅱ重点テーマ 企業	10月31日	ユニー(株)アピタ桑名店・四日市店打ち合わせ	新海・宇野

【IV 通常業務 情報基盤整備】 ホームページアクセス数 13,612 件

収集した資料	行政関連	企業関連	NPO 関連	その他	合計
	13 種	9 種	25 種	10 種	57 種

【IV 通常業務 オフィス運営管理】

10月 開館日数 22日	来館者数 (相談・問合せ)	電話 (相談・問合せ)	展示内容	スタッフ数
合計 平均	176名/22日 8.00/日	273件	里山大好き なごや環境塾6期生 里山グループ	86.5人 3.46人/25日

【事業報告】

II 重点テーマ 次世代応援		
事業内容	成果	課題
10月19日 志サロン 「いろいろ様々ソレゾレを認め合う ～希代翔さんに聞く～」 【ねらい】 ゲストの話を受け、参加者が自分のやりたいことを実現するための一歩を見出す。 【ゲスト】 希代 翔さん （多文化共生サークル smile 代表） 門田一美さん （名古屋 NGO センター事務局） 参加者 26名	「まずは行動する」というゲストのメッセージを受け、参加者が「やりたいこと」に向き合い、どう実現するかを参加者同士意見交換する場を設けることができた。	意見を交わした参加者の方々が主体的に行動する、具現化するためのサポートの検討。
【今後の課題及び所見】 志講座 VOL2 の第1回めである。地域で活躍している次世代の思いを聞きあいながら、お互いに強くなり活動を生み出していく場をつくること、次世代が日常的に環境活動・行動を起こし一人ひとりが社会に根付く活動を展開するために強めあうネットワークづくりをサポートする。		

II 重点テーマ ESD 普及・啓発		
事業内容	報告・成果	課題
10月1日 環境省 ESD モデル事業担当者会議	全国 10ヶ所で展開されているモデル地域の担当者が集まり、現段階の課題などを共有し、今後のサポート、コーディネーションのあり方を検討した。	かすがい KIZUNA のメンバーと現在の課題を共有し、EPO 中部の役割を明確にすること。
10月4日 中京大学金ゼミ参加	多文化共生をテーマに研究している大学生を対象に ESD の概念や ESD 事例紹介をしている。	地域の ESD 活動への参加が得られるようにいかに促すかの検討。
10月4日 かすがい KIZUNA 会議	かすがい KIZUNA プロジェクトの進捗状況、今後スケジュールなどの把握	EPO 中部のもつネットワークや機能をかすがい KIZUNA プロジェクトにどう注入していくかの検討。
10月11日 森林文化アカデミーESD 講座実施	森林文化アカデミーの学生に東海地域での ESD の動きを紹介した。 ESD 普及における EPO 中部の役割をレクチャーした。	森林文化アカデミーの教員・学生は ESD への関心が非常に高い。今後協働で実施可能な事業をいかに提案するか、協働体制をどうつくるかの検討。
10月18日 ESD-T 会議 ＊加子母合宿・環境ディなごや出展のふりかえり ＊ワールドコラボフェスタ・ESD 講座企画について	9月に実施した加子母合宿と環境ディなごやの出展についてふりかえり、その課題を次の企画に生かすことを確認。	地域のフィールドへの訪問やイベントへの参加の際に、ESD を伝える難しさを痛感する。ESD-T として、EPO として、ESD を分かり易く伝えるツールの必要性がある。

10月21日 ワールドコロボフェスタ説明会 *出展者自己紹介 *当日運営についての説明 *質問・意見交換	ワールドコロボ ESD 広場出展者を対象に事業についての説明を実施した。事前にコミュニケーションを図ることで一緒に作っている感が高まり、ESD 広場が実現しようとしているミッションを伝えることができた。	説明会にきていただいた積極的な団体の方との関係性を強化する。
10月27・28日 ワールドコロボフェスタ ESD 広場企画運営 (財団法人名古屋国際センター委託事業) *ステージ企画 *ワークショップ企画 *ESD STYLE 展示 *メッセージ for 未来 *ESD TOUR *スタンプラリー	来場者数 3000 人 参加：17 団体・3 個人 ESD を伝え理解するための多様なしなかけ（プログラム）を展開した。 環境だけではなく、多文化共生・人権・平和など「ESD」をキーワードにより深く連なる関係性をつくることができた。中京大学の金ゼミの学生、ESD-T のメンバーが当日ボランティアとして参加した。	2 日間のイベントで終らせず、今回であった団体・個人と、日常的に、また ESD 事業を展開する際に、いかに連携・協働することができるのかが重要である。また当日スタッフとして参加していただいた ESD-T のメンバーや学生とのつながりを行動に具現化していくことも求められる。
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>かすがい KIZUNA プロジェクト、ESD-T、森林文化アカデミー、ワールドコロボなどこの地域の ESD 活動は確実に活性化している。EPO 中部は点で動いているそれぞれをつなぎ、ESD=未来をつくる学びのしくみづくりをサポートする。</p>		

Ⅲ 地域リクエスト事業 企業との協働の芽を探る		
事業内容	報告・成果	課題
10月17日 東邦ガス(株) エコクッキング打ち合わせ	東邦ガス(株)のもつエコクッキングのノウハウと環境 NPO(市民団体) のもつノウハウを合わせ、今回はごみ減量をテーマにメッセージが強くユニークなメニューを考案、親子で調理実習をした。	東邦ガス(株)としては今後もエコクッキングを展開する予定。協働する NPO の発掘・紹介、情報提供が課題である。
10月21日 東邦ガス(株)エコクッキング		
10月31日 ユニー(株)環境学習事業 アピタ桑名店・四日市店打ち合わせ 【実施日】 11月11日 アピタ桑名店 12月8日 アピタ四日市店	ユニー(株)と協働ですすすめている店舗を活用した環境学習事業をさらに三重県と協働で行うこととなり、その事前打ち合わせを実施。	EPO 中部がユニー(株)、三重県のコーディネートをしているが、地域が独自に事業展開できるようなサポート体制及び関係性をつくること。
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>企業と NPO・市民と多様な協働プログラムを実施するなかで、協働することで掘り起こされる課題や生み出される成果を分析し、協働（パートナーシップ）の効果を社会に提示すること。</p>		

Ⅲ 地域リクエスト事業 行政との協働の芽を探る		
事業内容	報告・成果	課題
10月5-6日 環境首都コンテスト中部地域交流会 *NPO法人「環境市民」が実施している日本の環境首都コンテストの中部地域の自治体の交流会に参加。5自治体の事例報告及び自治体職員との経験交流を図った。	EPO 中部圏域で積極的に環境施策に取り組んでいる自治体職員と交流することで、行政側の協働（パートナーシップ）に関する課題や今後の方向性をヒアリングすることができた。	今回交流した自治体職員の方をEPOに巻き込み、パートナーシップ型の環境政策をいかにつくるか、市民参加をどうすすめるか、パートナーシップの弊害は、といったテーマでの意見交換のテーブルを早急につくること。
10月18・19・20・24・25日 21世紀環境立国セミナー打ち合わせ	21世紀環境立国セミナー出演者に企画の詳細・当日の役割について説明をし、企画目的を共有することができた。	
10月25日 21世紀環境立国セミナー *21世紀環境立国戦略の説明および地域でいかに位置づけ環境課題の解決・環境活動促進に向けてどう具現化するかを意見交換した。また地域に必要な活動・施策の実現に向けた官民の関係性を探った。 参加者 32名	戦略の説明を受け、政府の動向や方向性を理解することができた。また地域で実践している人が、戦略をいかに位置づけて政府とどう関係性をつくるかを考える機会となった。	21世紀戦略をいかに地域で活用するか、そのためにEPO中部としてなにを提供することができるのかの検討。今回の意見交換で出された内容を、下半期の自治体を対象にした事業にどう組み込んでいくかの検討が必要である。
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>中部地域の環境先進自治体の現状・政府の動向を把握し、EPO中部として地方自治体とどう関係性をつくり、環境パートナーシップの促進をすすめるか、検討する時期に入っている。下半期には環境政策提言事業、自治体経験交流会を予定しているが、地方自治体のニーズの即した事業展開を図りたい。</p>		

Ⅲ 地域リクエスト事業 環境パートナーシップを促進する事業への参画		
事業内容	報告・成果	課題
10月23・24日 全国環境パートナーシップオフィス連絡会 *全国7ヶ所に設置された地方EPOの現状および課題について情報共有および今後の在り方について意見交換した。 出席者 29名	1) 企業とのパートナーシップ・CSR推進、2) 地域づくり・ESD推進、3) マネジメント 4) 環境政策、5) 情報、6) 全体ビジョンと評価の6点について各地域EPOの現状把握、課題解決にむけて意見交換した。	定期的・継続的に各テーマの課題の解決について議論する場の設定。特に短・中長期のビジョン、評価システムを早急に作成することが課題としてあげられる。
10月25日 なごや環境大学講座チーム会議 *なごや環境大学幹事として参画。講座チーム、なごやを動かそまいチームを担当。 *2007年度なごや環境大学講座募集に関しての方向性を意見交換した。	なごや環境大学は、協働（パートナーシップ）のしくみそのものであり、EPOとしては非常に有効な事例として関わっている。一筋縄にはいかない事業展開における協働の弊害、生み出されたときに非常に影響力のある成果、その両面をみつつ、ひとつの事例として分析している。	ある程度事業の知名度が上がった今、次のステップとしてこの装置をさらに地域インパクトを高める協働を育むためにどう変容させていくか。EPOのネットワークや情報を注入しながら、地域の協働事例として育てていくこと。

【今後の課題及び所見】

多様な場面で環境パートナーシップの必要性が語られる。EPO 中部がこの間実施してきたパートナーシップ事例から抽出された成果を分析し、その可能性を広く伝えられるツールをつくること。

*参考資料

【10月 月報】

10月		来館者数 (相談・問合せ)	電話 (相談・問合せ)	相談・問合せ内容	スタッフ数
1	月			ESD 地域担当者ミーティング	1
2	火	6 (4)	14 (10)	えこひいきりコー中部との打ち合わせ コミュニケーションサロン打ち合わせ	4
3	水	9 (5)	12 (8)		3
4	木	5 (4)	13 (8)	中京大学金ゼミとの打ち合わせ ワールドコラボフェスタ NIC との打ち合わせ 春日井 KIZUNA プロジェクト	4
5	金	3 (2)	8 (6)	環境首都コンテスト (飯田市) 第2回志サロン打ち合わせ	4
6	土	18 (16)	6 (2)	環境首都コンテスト (飯田市) コミュニケーションサロン	3
7	日				
8	月				
9	火	8 (6)	17 (15)	ワールドコラボフェスタ: 幼い難民を考える会との 打ち合わせ	4
10	水	5 (3)	15 (13)	INAX との打ち合わせ	4
11	木	6 (5)	10 (6)	森林文化アカデミーでの ESD 講座	3
12	金	9 (6)	18 (17)	ワールドコラボフェスタの打ち合わせ	4
13	土	2 (1)	6 (5)	ユニーお店探検隊 (松坂三雲) 千頭氏とのミーティング	3
14	日				
15	月				
16	火	5 (3)	19 (18)		2.5
17	水	8 (5)	11 (10)	第1回志サロン打ち合わせ	4
18	木	11 (9)	17 (15)	ESD-T 担い手会議	3.5
19	金	28 (26)	14 (11)	第1回志サロン	4
20	土	2 (0)	3 (2)		3
21	日				1.5
22	月				
23	火	9 (7)	18 (16)	第2回志サロン打ち合わせ	4
24	水	13 (11)	16 (15)		3.5
25	木	8 (6)	19 (17)	第5回志サロン打ち合わせ	4
26	金	9 (7)	17 (15)		4
27	土	1 (0)	3 (0)	ワールドコラボフェスタ	4
28	日			ワールドコラボフェスタ	4
29	月				
30	火	7 (5)	9 (7)		4
31	水	4 (2)	8 (7)	ユニーお店探検隊桑名店・四日市店打ち合わせ	3.5
合計 平均		176名/22日 8.00/日	273件,		86.5人 3.46人/25日

【中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集】

タイトル	年度	発行	備考
なんじゃもんじゃ通信 Vo. 19 No. 5	2007	名古屋自然観察会 名古屋支部代表	B5 20P 日本語 2007. 10. 1 発行
人と自然の共生国際フォーラム	2007	人と自然の共生国際フォーラム実行委員会	A4 1P 日本語 2007 発行
第 20 回日本の森と自然を守る全国集会 愛知瀬戸集会	2007	日本の森と自然を守る全国連絡会	A4 1P 日本語 2007 発行
いのちの水を守る“水源の森プログラム” 光 土 水 風	2007	森林施業 NPO 法人森林の風	A4 1P 日本語 2007 発行
12月→3月パークセンター 自然体験	2007	国立木曽三川公園 アクアワールド水郷パークセンター	A4 1P 日本語 2007 発行
パークセンターのハロウィーン体験	2007	国立木曽三川公園 アクアワールド水郷パークセンター	A3 二つ折 1P 日本語 2007 発行
「きれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会」のご案内	2007	社団法人 日本の水をきれいにする会	A4 3P 日本語 2007 発行
雑木林 2007年 10月号 Vol. 203	2007	豊田市自然観察の森	A 4 4P 日本語 2007 発行
Guide MAP omotehama 表浜海岸マップ (豊橋市域)	2007	特定非営利活動法人 表浜ネットワーク	A4 縦半分 16P 日本語
表浜海岸の植生ハンドブック	2007	特定非営利活動法人 表浜ネットワーク	A5 18P 日本語
特定非営利活動法人 表浜ネットワーク	2007	特定非営利活動法人 表浜ネットワーク	A4 三つ折 1P 日本語
木曽三川公園パークセンター イベント案内 芸術の秋・食欲の秋 パークセンターで楽しい体験しませんか	2007	アクアワールド水郷 パークセンター	A4 4P 日本語 2007 発行
エコライフの実践ガイド 食べ方を変えれば、私が変わる。地球が変わる。	2007	にんじん CLUB	A6 14P 日本語 2007 発行
第 2 回 我が家の「eco 宣言☆」 エコライフスローガンとミニレポート大募集	2007	環境省	A 4 1P 日本語 2007 発行
にんじん CLUB の畑の朝市が帰ってくる	2007	にんじん CLUB 地域の未来を考える会	A 4 1P 日本語 2007 発行
海上の森から海まで水の旅 藤前干潟～伊勢湾まで	2007	ネイチャークラブ東海事務局	A4 1P 日本語 2007 発行
ボランティア劇団員募集	2007	にんじん CLUB	A4 1P 日本語 2007 発行
こどもエコクラブ ニュース 2007 no. 70 秋号	2007	環境省総合環境政策局環境教育推進室 こどもエコクラブ全国事務局	A5 24P 日本語 2007 発行
こどもエコクラブ サポーターズニュース 2007 秋号	2007	環境省総合環境政策局環境教育推進室 こどもエコクラブ全国事務局	A4 4P 日本語 2007 発行
2008 年 学校自慢エコ大賞 作品募集	2007	「学校自慢エコ大賞事務局」	A4 1P 日本語 2007 発行
環境教育の教材を授業でご活用ください!	2007	三洋電機株式会社 CSR 部	A4 1P 日本語 2007 発行
地域づくり研修交流会	2007	愛知県地域振興部地域政策課内 (愛知県地域づくり団体交流協議会事務局)	A4 1P 日本語 2007 発行
きんき環境館 第 5 号	2007	きんき環境館 環境省近畿環境パートナーシップオフィス	A 4 8P 日本語 2007. 9 発行

ecocon2007 第5回全国学生環境活動コンテスト	2007	全国大学生環境活動コンテスト実行委員会	A4 1P 日本語 2007 発行
つづけられるなまづくりと環境づくり。 EPO 九州	2007	環境省九州環境パートナーシップオフィス EPO 九州	A4 三つ折 1P 日本語 2007 発行
エコロビト vol.1	2007	特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会	A4 8P 日本語 2007 発行
21世紀環境立国戦略 平成19年6月1日閣議決定	2007	環境省大臣官房政策評価広報課	A4 1P 日本語 2007 発行
がらぼうだより vol.136 2007年10月	2007	NPO 法人ガラ紡愛好会	B4 1P 日本語 2007 発行
ESD レポート vol.12 2007 秋	2007	NPO 法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議	A4 8P 日本語 2007 発行
2007年度 市民のための環境公開講座	2007	(社)日本環境教育フォーラム・(財)損保ジャパン環境財団・(株)損害保険ジャパン	A4 4P 日本語 2007 発行
Mobius for Sustainability ～持続可能な循環～	2007	気仙沼市教育委員会 宮城教育大学	A4 14P 日本語 2007 発行
Understanding and Creating Regional Centres of Expertise	2007	UNITED NATIONS UNIVERSITY	A4 6P 英語 2007 発行
Regional Centres of Expertise	2007	UNITED NATIONS UNIVERSITY	A4 1P 英語 2007 発行
Programme on Education for Sustainable Development	2007	UNITED NATIONS UNIVERSITY	A4 1P 英語 2007 発行
平成20年版 環境・循環型社会白書表紙絵コンクール作品募集	2007	環境省	A4 1P 日本語 2007 発行
環境カウンセラーと行くIV 食品残渣のゆくえ～ バイオマスタウンを目指して～	2007	環境カウンセラー岡本明子	A4 1P 日本語 2007 発行
みんなのかんきょう 52	2007	福井県・環境ふくい推進協議会	A4 8P 日本語 2007 発行
名鉄グループ 環境・社会報告書 2007	2007	名古屋鉄道株式会社	A4 40P 日本語 2007.9 発行
環境・社会報告書 2007	2007	松下エコシステムズ株式会社	A4 18P 日本語 2007.9 発行
環境レポート 2007	2007	ユニー株式会社	A4 38P 日本語 2007.8 発行
環境報告書 2007 AISIN AW	2007	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	A4 62P 日本語 2007.1 発行
Peace in Mindanao Week!	2007	(特活)アジア日本相互交流センター 日本事務局	A4 1P 日本語 2007 発行
未来のぎふ、グローバルぎふ 異文化との出会い	2007	ADOTOPS 未来会館運営共同体	A4 1P 日本語 2007 発行
FLIPPER VOL.7 2007 AUTUMN	2007	アイサーチ・ジャパン	B5 16P 日本語 2007.10.1 発行
ぼらんぼ vol.51	2007	なごやボランティア・NPOセンター	A4 8P 日本語 2007 発行
NPO 法人設立講座	2007	なごやボランティア・NPOセンター	A4 1P 日本語 2007 発行
2050年担い手塾	2007	NPO 法人地域の未来・志援センター	A4 1P 日本語 2007 発行
ボラみみ 2007 October No.91	2007	(特定)ボラみみより情報局	B5 14P 日本語

			2007.10.1 発行
ristex NEWS vol.7	2007	独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター	A4 4P 日本語 2007.1 発行
犬山市民活動支援センター しみんてい ニュース vol.31	2007	(特定) 犬山市民活動支援センターの 会	A 4 6P 日本語 2007.10.15 発行
山中令子さんにきく ファシリテーター&ワーク ショップの魅力	2007	なごやボランティア・NPOセンター	A4 1P 日本語 2007 発行
施設運営の市民参加を考える	2007	なごやボランティア・NPOセンター	A 4 1P 日本語 2007 発行
新たな世界へ。 NPO/NGO で働くセミナー～ NPO/NGO で働くということ～	2007	なごやボランティア・NPOセンター	A4 1P 日本語 2007 発行
持続可能な地域社会をつくる 日本の環境首都コ ンテスト 第6回先進事例集	2007	特定非営利活動法人環境市民	A4 44P 日本語 2007.3.31 発行
持続可能な地域社会をつくる 日本の環境首都コ ンテスト 第6回質問票	2007	特定非営利活動法人環境市民	A4 174P 日本語 2007.3.31 発行
日経エコロジー eco November2007	2007	日経 BP 社	A4 134P 日本語 2007.10.8 発行
ecocon2006 第4回全国学生環境活動コンテスト	2007	全国大学生環境活動コンテスト実行 委員会	A4 1P 日本語 2007 発行

【環境省中部環境パートナーシップオフィス 平成19年度11月事業報告】

【11月事業全般】

平成19年度中部環境パートナーシップオフィス運營業務（11月）は、企業との協働事業、EPO主催事業において人材育成事業を中心に実施した。

【11月事業/会議日程】

事業区分	日程	業務内容	担当者
Ⅱ重点テーマ 次世代	11月2日	志講座	宇野 新海
I協働提案事業	11月3日	ユニー(株)提供なごや環境大学 お店探検インタープリター養成講座	新海 桜井 宇野
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	11月9日	なごや環境大学全体会議	新海
Ⅲ地域リクエスト 企業	11月11日	ユニー・アピタ桑名店環境学習プログラム体験	宇野 新海
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	11月12日	名古屋市ものづくり拠点構想委員会	新海
I協働提案事業	11月13-14日	エコひいき 石川エリア ヒアリング	鶴飼 新海
Ⅱ重点テーマ ESD	11月14日	がっつり ESD 講座	新海 桜井 宇野
Ⅱ重点テーマ 次世代	11月15日	志講座打ち合わせ	宇野 新海
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	11月17日	おかざき自然体験の森 環境学習施設に関する 講義	新海
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	11月24日	なごや環境大学なごや環境塾	新海
Ⅱ重点テーマ ESD	11月29日	ESD-T 担い手会議	桜井 宇野 新海
Ⅱ重点テーマ ESD	11月30日	安城市 ESD プロジェクト	鶴飼 新海

【IV 通常業務 情報基盤整備】ホームページアクセス数 11,985件

収集した資料	行政関連	企業関連	NPO 関連	その他	合計
	10種	9種	13種	1種	

【IV 通常業務 オフィス運営管理】

10月 開館日数 22日	来館者数 (相談・問合せ)	電話 (相談・問合せ)	展示内容	スタッフ数
合計 平均	142名/22日 6.45/日	232件	里山大好き なごや環境塾6期生 里山グループ	76.5人 3.5人/22日

【事業報告】

I 協働提案事業		
事業内容	報告・成果	課題
11月3日 ユニー(株)提供なごや環境大学 お店探検インタープリター養成講座	これまでの講座の集大成として作成したプログラムの発表・評価を行った。	講座終了後、受講生とどのようにつながるか、作成したプログラムをどうブラッシュアップさせるか、具体的な展開を検討すること。
11月13-14日 リコー中部(株)エコひいき事業 石川エリアヒアリング エコひいき 2007 助成団体活動およびエコひいき事業評価についてヒアリング *石川リコー株式会社 *金沢エコライフくらぶ *地球の友・金沢	エコひいき 2007 助成団体の活動状況についてと、今後のエコひいき事業の可能性・展開についてヒアリングを実施した。今回はリコー社員のインタビューを含め社員の生の声を聞くことができ、過去6年間積み上げてきた事業の成果と課題を明確にすることができた。	ヒアリングで抽出した素材をいかにエコひいきのしくみに取り込むか、また次年度事業に活かすか。2月に予定している経験交流会での意見交換を踏まえ提案していくこと。
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>企業と協働で実施する事業を通して、新しいネットワークが生まれ、地域に必要な活動が生まれる。生まれた活動が自立し軌道にのるまでどうサポートしていくか、EPOのコーディネーション、プロデュース力が試される。</p>		

II 重点テーマ 次世代応援		
事業内容	報告・成果	課題
11月2日 志サロン 「人間一人一人の命の尊さを伝える！～川畑博昭さんに聞く～」 【ねらい】 ゲストの話を受け、参加者が自分のやりたいことを実現するための一歩を見出す。 【ゲスト】 川畑博昭さん (愛知県立大学 准教授) 奥村祥子さん (NPO 法人アジア日本相互交流センタースタッフ) 参加者 9名	「平和な暮らし、社会とは？」をテーマにゲストの経験談と志を受け意見交換をした。平和な暮らしや社会をつくるためには、違う意見をどう受け止めるか、他者とどのような関係性をつくるのが重要なテーマとなることを共有した。	受講者の気づきや共感を次の講座にいかにつなげていくか、また日々このようなテーマの対話を継続するかが課題である。参加者の確保。
11月15日 志講座打ち合わせ	次回ゲストにお迎えする善田奈緒さんと講座内容について打ち合わせをし、イメージを膨らませた。	
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>1回ごとのサロンが完結して終わってしまうので、内容と参加者をいかにつなげるかを考えて企画を立てる必要がある。今年度は参加者のネットワークをつくること、さらに行動する人をつくることである。サロンを積み重ねることで目標が達成できるよう、サロンの設計をゲストとともに企てることが課題である。</p>		

II 重点テーマ ESD 普及・啓発		
事業内容	報告・成果	課題
11月14日 がっつり ESD 講座 第1回「なごやの光栄と村の挫折」 ゲスト：森木幹哉氏 中日新聞社木曾通信局 参加者 12名	財政困難状態にある長野県王滝村の現状を報告いただき、今置かれている厳しい状況を知った。その上で山村と都市のつながりをどうつくるのか、それぞれにできることは何なのかについて意見交換した。	受講者が気づいたことをどう行動にするか、つなげるか、提案すること。事例から得たことを ESD 的な学びの内容に変換していくことが求められている。 参加者の確保
11月29日 ESD-T 担い手会議 *第1回 ESD 講座のふりかえり *第2回 ESD 講座に向けて 【参加者】8名	第1回の講座内容から ESD コーディネーターとして必要な ESD 的視点を抽出した。	今回の講座はコーディネーターとして必要な ESD 的視点を学ぶことが目的なので、講座内容を絞込み、単なる事例紹介に終わらないようにすること。 参加者の確保
11月30日 安城市 ESD プロジェクト 【参加者】 安城市役所職員 ESD-J 事務局 環境市民スタッフ EPO 中部スタッフ	安城市の職員を対象にした ESD 研修を企画するために意見交換をした。	市職員のニーズを踏まえた ESD 研修の企画内容の詰め。
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>ESD を普及し、しくみづくりを実践するには地域をコーディネートする人材が必要である。その人材育成事業をスタートし、さらに活動をつなぎ膨らませ、ESD 的学びのしくみづくりの一役を担うことが求められている。また安城市において ESD をテーマにした職員研修を実施したいというニーズが ESD-J に届けられた。EPO 中部としては、ESD-J と連携し管内の自治体の取り組みとして最初から関わり、先進的事例となるようサポートしていきたい。</p>		

III 地域リクエスト事業 企業との協働の芽を探る		
事業内容	成果	課題
11月11日 ユニー(株)環境学習事業 アピタ桑名店 参加者 23名 スタッフ：お店探検隊みえ 5名 桑名北高等学校 4名 三重県 1名 EPO 中部 2名	ユニー(株)、店舗、三重県、地元 NPO、地元高校と協働で実施した初めてのプログラム。ステークホルダーが多いと調整に時間がかかりがちだが、今回は役割分担を明確にしたのでスムーズに進むことができた。地域主体の動きは、主体の関係性を育むため、継続実施を可能に出来ることを垣間見た。	次の企画と企画運営を地域に移行させていく準備。
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>EPO 中部は、地域の企業（店舗）、行政、NPO がお互いの強みを持ち寄り活動につなげるためのサポートをする機能であり、いくつかの事例を通して、つなげるために必要なスキルやノウハウ、協働にいたるプロセスやポイントをまとめること。</p>		

Ⅲ 地域リクエスト事業 環境パートナーシップを促進する事業への参画		
事業内容	報告・成果	課題
11月9日 なごや環境大学全体会	なごや環境大学幹事が集まり、今年度事業の進捗状況の確認と中長期ビジョンについての意見交換をした。	なごや環境大学が先進的なパートナーシップ事例となるよう、しくみや意思決定のあり方について具体的な提案を出す。
11月12日 名古屋市ものづくり拠点構想委員会	名古屋市がすすめているものづくり拠点構想委員として会議に出席。	ものづくり拠点をいかにパートナーシップ型でつくるか、具体的な意見・提案をだす。
11月17日 おかさき自然体験の森 環境学習施設に関する講義	岡崎市にある環境学習施設にて、行政とNPOのパートナーシップのあり方についてレクチャー及び意見交換をした。	岡崎市で活躍しているNPOの方々の課題や悩みを解決できるよう、行政と対話する場などを設けコミュニケーションを図る。
11月24日 なごや環境大学なごや環境塾	なごやを環境首都にするために「行動する市民・協働する市民」を育む人材育成講座の講師を「企画づくり」をテーマに3回担当。	なごや環境塾受講生とのつながりを強化しEPO事業への参加を促す。
<p>【今後の課題及び所見】</p> <p>それぞれの事業の中で、パートナーシップ型で進むことによってどのような変化、成果が生じるかをイメージしながら、意見やアイデアを出すことが求められる。そのためにも海外、国内の先進の環境パートナーシップ事例を収集し、その成果と指標を分析する必要がある。</p>		

*参考資料

【11月月報】

11月		来館者数 (相談・問合せ)	電話 (相談・問合せ)	相談・問合せ内容	スタッフ数
1	木	8(6)	14(10)	千頭氏とミーティング	4
2	金	16(12)	18(15)	第2回がつつり志サロン	4
3	土	11(10)	1(0)	第5回お店探検隊インタープリター養成講座	1.5
4	日				
5	月				0.5
6	火	5(4)	11(9)		3
7	水	8(5)	15(13)		3.5
8	木	6(4)	14(12)	環境省メールマガジンに関するミーティング	3
9	金	5(4)	12(10)	なごや環境大学のミーティング ESD ミーティング 岡田氏とのミーティング ユニー(株)とのミーティング	4
10	土	2(1)	2(2)		2
11	日			ユニーお店探検隊 in 桑名	2
12	月			ものづくりミーティング	
13	火	4(3)	9(8)	石川出張(リコー石川・石川県庁ヒアリング)	4
14	水	13(10)	15(14)	石川出張(三國さん、青海さんヒアリング) がつつり ESD 講座第1回	4
15	木	8(6)	11(9)	かすがい KIZUNA ミーティング がつつり志サロン事前打ち合わせ	2.5
16	金	4(4)	13(10)	中部電力(株)打ち合わせ 飯尾氏とミーティング	4
17	土	0(0)	0(0)	岡崎講座	3
18	日				
19	月				
20	火	5(3)	7(7)	環境省メルマガミーティング (株)DENSO とミーティング	4
21	水	8(5)	13(10)	ESD フォーラム下見	4
22	木	6(5)	11(8)		3.5
23	金	8(7)	9(7)		2
24	土	1(0)	1(0)	なごや環境塾	3
25	日				
26	月				
27	火	7(5)	16(15)	なごや環境大学ミーティング 木村氏とのミーティング 千頭氏とミーティング	4
28	水	4(3)	14(13)	政策提言ミーティング	4
29	木	10(9)	11(10)	ESD-T 担い手会議	3
30	金	3(2)	15(14)	安城 ESD ミーティング	4
合計		142名/22日	232件		76.5人
平均		6.45/日			3.3人/23日

【中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集】

タイトル	年度	発行	備考
緑と水の通信 第93号	2007	ナチュラリスト敦賀 緑と水の会	A4 8P 日本語 2007 発行
雑木林 2007年 11月号 Vol.204	2007	豊田市自然観察の森	A4 4P 日本語 2007 発行
際13回P. N. ファンド 助成成果発表会	2007	(財)日本自然保護協会 保全研究部	A4 1P 日本語 2007 発行
全環連ジャーナル NO.15	2007	社団法人 全国環境保全推進連合会	A4 16P 日本語 2007.1 発行
出会おう！語ろう！感じよう！ 第8回南東北「川・水環境」ワークショップ	2007	東北「川・水環境」ワークショップ実行委員会	A4 1P 日本語 2007 発行
私が変われば社会も変わる！ーはじめようエコライフー	2007	eco-T 事務局	A4 1P 日本語 2007 発行
環境学習体験プログラム	2007	愛知県	A4 1P 日本語 2007 発行
「あなたもレッツトライ！環境教育」PART3	2007	浅野智恵美	A4 1P 日本語 2007 発行
全国から中部から岐阜へ集合！！地域を活かす助成金セミナー	2007	NPO 法人地域の未来・志援センター/ セブニーイレブンみどりの基金	A4 1P 日本語 2007 発行
「花祭りの里」交流事業報告 平成18年	2007	NPO 法人ボランティアネイバーズ	ビデオ 日本語 2007 発行
IT-ECOシリーズ。SURVEYOR	2007	TCBテクノロジーズ株式会社	A4 1P 日本語 2007 発行
あなたに知ってほしいこと ～理美容サロンが伝える 化学物質の真実～	2007	全国BSC理美容協同組合 総本部事務局	A5 17P 日本語
あいち自然ネット（あいち自然環境団体・施設連絡協議会）に参加しませんか？	2007	「あいち自然環境団体・施設連絡協議会」設立準備会（あいち海上の森センター内）	A4 1P 日本語 2007 発行
セブニーイレブンみどりの基金 2008年度公募助成	2007	セブニーイレブンみどりの基金	A4 6P 日本語 2007 発行
がらぼうだより vol.137 2007年11月	2007	NPO 法人ガラ紡愛好会	B4 1P 日本語 2007 発行
2007NEW環境展 あいち発・持続可能な循環型社会をめざして	2007	株式会社日報アイ・ビー	チケットサイズ 1P 日本語 2007 発行
Green Earth FoE Japan Newsletter	2007	国際環境NGO FoE Japan	A4 6P 日本語 2007 発行
戦争と環境はつながっている 私たちの生活がチャイルドソルジャーを生み出しているの？	2007	全国BSC理美容協同組合 総本部事務局	A4 1P 日本語 2007 発行

共育講座「原子力を知ろう、考えよう」	2007	エコプラットフォーム東海	A4 1P 日本語 2007 発行
第7回 NGO/NPO・企業 環境政策提言募集！	2007	「NGO/NPO・企業環境政策提言推進委員会」事務局	A4 1P 日本語 2007 発行
第7回 NGO/NPO・企業 環境政策提言募集 募集要項	2007	「NGO/NPO・企業環境政策提言推進委員会」事務局	A4 6P 日本語 2007 発行
社会環境報告書 2007	2007	矢崎総業株式会社 環境室	A 4 68P 日本語 2007.9 発行
平成 19 年度 なごやかトーク 団塊世代のシニアライフ	2007	名古屋市	A 4 1P 日本語 2007 発行
NPO 運営入門講座 NPO 運営の基礎を学ぼう！	2007	なごやボランティア・NPOセンター	A 4 1P 日本語 2007 発行
第7号 かけはし	2007	特定非営利活動法人アルシュ（自立を支援する会）	A4 6P 日本語 2007 発行
平成 18 年度 北海道内市町村における環境基本計画の策定状況に関する調査報告書	2007	環境省	A4 50P 日本語 2007.5 発行
今はじめよう 地球のためにできること！	2007	愛知県	A4 22P 日本語 2007 発行
会報 河川文化 第39号	2007	社団法人 日本河川協会	A 4 44P 日本語 2007 発行
地球環境基金 平成 18 年度活動報告集	2007	独立行政法人環境再生保全機構	A 4 174P 日本語 2007.1 発行
日経エコロジー eco December 2007	2007	日経 BP 社	A4 138P 日本語 2007.11.8 発行
人工林ハンドブック I 理論編	2007	J-FIC（㈱日本林業調査会）	A4 152P 日本語 2007.10.28 発行
人工林ハンドブック II 実践編	2007	J-FIC（㈱日本林業調査会）	A4 152P 日本語 2007.10.28 発行
地域をデザインする	2007	新評論	A5 302P 日本語 2007.11.15 発行

【環境省中部環境パートナーシップオフィス 平成19年度12月事業報告】

【12月事業全般】

平成19年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務（12月）は、環境政策提言事業、中部ESD協議会発足に向けての準備、環境省ESDモデル地域であるかすがいKIZUNAのサポートを中心に事業を遂行した。

【12月事業/会議日程】

Ⅱ重点テーマ ESD	12月3日	環境省モデル事業かすがいKIZUNAプロジェクト打ち合わせ	桜井
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	12月8日	なごや環境大学なごや環境塾	新海
Ⅱ重点テーマ ESD	12月11日	中部ESD協議会会議	新海
Ⅱ重点テーマ ESD	12月12日	ESD講座	桜井 宇野
Ⅱ重点テーマ 次世代	12月14日	がつつり志講座	宇野 新海
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ	12月15日	四日市環境学習センター講座	新海
Ⅲ地域リクエスト 行政	12月17日	環境省重点グリーンフィンギング&環境政策提言セミナー	鶴飼 新海
Ⅱ地域リクエスト 環境パートナーシップ Ⅱ重点テーマ ESD	12月20日	なごや環境大学講座チーム会議 ESD-T 担い手会議	新海 桜井 宇野

【Ⅳ 通常業務 情報基盤整備】ホームページアクセス数 13,253件

収集した資料	行政関連	企業関連	NPO 関連	その他	合計
	22種	7種	37種	7種	73種

【Ⅳ 通常業務 オフィス運営管理】

10月 開館日数 22日	来館者数 (相談・問合せ)	電話 (相談・問合せ)	展示内容	スタッフ数
合計	159名/19日		カレンダーやポスター	71.5人
平均	8.37/日	222件	から聞こえるエコの声	3.4人/21日

【事業報告】

II 重点テーマ 次世代応援		
事業内容	報告・成果	課題
12月14日 志講座 「これが地域の活性化剤！ ～善田奈緒さんに聞く～」 【ねらい】 ゲストの話を受け、自分自身の思いや志を見つめなおす 【ゲスト】 善田奈緒さん(ふれあいのやかたかしも森林インストラクター) 辻本哲朗さん(愛知県職員) 参加者7名	東京から岐阜県の山村加子母村に移り住み、人々と向き合い、地域資源である森林に向き合い、人と産業の活性化に力を注いでいる経験談を受け、人と向き合う、人の思いを聞くワークショップを実施し、他者の志と自分を重ねながら自分を見つめなおす時間をもった。	内在している参加者の志を社会にいかん表現していくか、次世代支援プログラムとして参加者とどこまで積み上げるかを整理し、次回の講座の組み立てを検討する。 参加者の確保
【今後の課題及び所見】 毎回、志高いゲストを迎え、参加者は強い刺激を受けている。この刺激の継続と、行動へのモチベーションアップをどのようにサポートしていくかが課題である。		

II 重点テーマ ESD 普及・啓発		
事業内容	報告・成果	課題
12月3日 環境省モデル事業 かすがい KIZUNA プロジェクト会議 場所：中部大学（春日井市）	今年度事業も大詰めになり、学校と PTA が一緒にすすめるもちつき大会、植樹祭の企画をつくりながら、いかに地域の人々にかすがい KIZUNA、ESD を伝えるかを検討した。	2月に実施する報告会に向けて、かすがい KIZUNA メンバーと EPO 中部で事業評価をすること。
12月11日 中部 ESD 協議会会合 場所：中部大学（中区鶴舞）	国連大学の認証 RCE を受けた中部 ESD 協議会の運営委員として、1月14日に行われる設立総会に向けての意見交換を実施。	中部 ESD 協議会のメンバーとして何を担うのか、EPO として何を實現するのかを明確にすること。
12月12日 がっつり ESD 講座 第2回「地域住民との共働から～むつみ福祉会のこだわり」 ゲスト 青山嘉靖さん むつみ福祉会施設長 参加者 8名	むつみ会のこだわりは、地域の人の理解を得られる道を模索すること。地域とむつみ会が交流し、お互いの存在を認め合いながら、地域の活性化、自己選択・責任を果たしながら生活の質を高めている。この活動から ESD 的な視点を抽出し、また地域と会をつなぐ役割をされた青山氏からコーディネート秘訣をうかがった。	福祉分野から ESD 的視点を抽出した。持続可能な社会を構築するために、解決すべく社会問題は、福祉、人権、ジェンダー、多文化共生などマイノリティといわれる人々に降りかかっている。環境の切り口だけでなく、多様なテーマから ESD 的視点を抽出することが課題である。 参加者の確保
12月20日 ESD-T 担い手会議 ＊第2回 ESD 講座のふりかえり ＊2月のフォーラムに向けて 参加者 5名	第1・2回の講座をふりかえり、2月のフォーラムで実施する分科会のテーマ案を出し合った。	フォーラムまであと2ヶ月なので、企画づめ、ゲスト交渉など早急に進める必要がある。 参加者の確保

【今後の課題及び所見】
 中部 ESD 協議会が立ち上がり、この地域の ESD 拠点が動き出す。EPO として蓄積してきたネットワークやノウハウを提供し、意味のあるムーブメントを起こしていく。
 定例化している講座や会議の参加者数が減っている。活動 P R を重視して参加者を増やすこと。

Ⅲ 地域リクエスト事業 行政との協働の芽を探る		
事業内容	報告・成果	課題
12月17日 環境省重点ブリーフィング & 環境政策提言セミナー 話題提供 大森恵子さん 環境省大臣官房政策評価広報室 鈴木弘幸さん 環境省総合環境政策局環境教育推進室 松原 明さん シーズ・市民活動を支える制度をつくる会事務局長 参加者 20名	参加者が環境省の重点施策を把握し、それぞれの課題に照らし合わせるとともに政策づくりにおける各所のポイントを学んだ。 参加者は政策課題をある程度設定し、協働型政策づくりのスキームについて意見交換した。	官の考える政策と民の考える政策の作り方、内容に差がある。 協働で政策をつくるスキームのプロセスが今の社会システムのあり方にマッチしていないため、実現に向けて非常にハードルが高い。いかに超えるかが課題である。
【今後の課題及び所見】 政府の方針・動向を把握し、民間、地域の課題を解決する政策を提言をする。非常にハードルの高い事業である。しかし膠着した社会システムの中で、柔軟性をもつ民間・地域の提案は新しい枠組みや施策を作る際に重要だと考えられる。実際には、作りかた、行政言語とのギャップ、既存の制度によりしぼりなどで具現化しにくい。いかにマッチングさせていくかが課題である。		

Ⅲ 地域リクエスト事業 環境パートナーシップを促進する事業への参画		
事業内容	報告・成果	課題
12月8日 なごや環境大学なごや環境塾	なごやを環境首都にするために「行動する市民・協働する市民」を育む人材育成講座の講師を「企画づくり」をテーマにした講座の2回目。	なごや環境塾受講生とのつながりを強化し EPO 事業への参加を促す。
12月15日 四日市環境学習センター講座 *環境 NPO の立ち上げと運営について	NPO という組織の特徴と可能性、協働について事例を使って紹介。また、NPO を運営する上で重要となる「ヒト・モノ・金・情報」「事業型とボランティア型」「コミュニケーションと合意形成」といったテーマでレクチャーをした。これから NPO を立ち上げたい、現在運営しているという参加者と課題解決のための方策について意見を交わした。	EPO はパートナーシップを可能にするために NPO の組織基盤強化というミッションを持っている。今回の講座はコンサルティングそのもので、そういった機能を日常的に果たす具体的なメニューを掲げ、ニーズに対応することが求められている。

<p>12月20日 なごや環境大学講座チーム会議 *次年度前期の公募講座の審査会</p>	<p>次年度も多くの講座の申請があり、なごや環境大学が地域に根付いてきたことが伺われる。</p>	<p>一方受講者数が伸びないという現状のなかで、いかに一般市民を巻き込んでいくかが課題となっている。企業との協働、NPO 同士の協働などをすすめ、強みを活かす講座づくりをサポートする。</p>
<p>【今後の課題及び所見】 人材育成事業のなかで、パートナーシップの可能性を解き、協働を進める人材、コーディネーターを育成すること。</p>		

*参考資料

【12月 月報】

12月		来館者数 (相談・問合せ)	電話 (相談・問合せ)	相談・問合せ内容	スタッフ数
1	土	2(0)	0(0)		1
2	日				
3	月			かすがい KIZUNA 打ち合わせ	1
4	火	9(4)	18(5)	三功と打合せ	4
5	水	13(5)	15(3)		4
6	木	10(7)	13(5)	がつつり ESD 講座の打合せ	3
7	金	14(6)	21(7)		4
8	土	1(0)	1(0)	ユニーお店探検隊 (四日市店) なごや環境塾	3
9	日				
10	月				
11	火	6(5)	12(4)	CSR 打合せ ㈱デンソーとの打合せ RCE-ESD の打合せ	4
12	水	15(12)	15(5)	第2回がつつり ESD 講座	3.5
13	木	8(6)	10(4)	かすがい KIZUNA 植樹祭 東邦ガス㈱と打合せ	4
14	金	16(13)	16(6)	政策提言に関して児玉氏と打合せ 第3回がつつり志サロン	4
15	土	3(0)	0(0)	四日市環境学習センター講座 かすがい KIZUNA プロジェクト会議	3
16	日				
17	月			政策提言セミナー	3
18	火	8(5)	11(4)	三重県と打合せ	4
19	水	5(4)	14(6)		4
20	木	11(7)	16(4)	ESD-T 担い手会議	3
21	金	16(8)	15(7)	ユニーお店探検隊 (鳴海店) の打合せ	4
22	土	2(0)	0(0)		3
23	日				
24	月				
25	火	5(3)	15(8)	㈱デンソーと打合せ	4
26	水	7(4)	16(8)		4
27	木	8(5)	14(5)	RCE-ESD 打合せ	4
28	金			冬季休暇	
29	土			冬季休暇	
30	日			冬季休暇	
31	月			冬季休暇	
合計 平均		159名/19日 8.37/日	222件,		71.5人 3.4人/21日

【中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集】

タイトル	年度	発行	備考
なんじゃもんじゃ通信 Vo.19 No.6	2007	名古屋自然観察会 名古屋支部代表	B5 16P 日本語 2007.12.6 発行
ムーアアカデミー通信 AUTUMN 第4号	2007	あいち海上の森センター (ムーアアカデミー)	A4 4P 日本語 2007.12.7 発行
海上の森シンポジウム 2007 海上の自然とシデコブシ	2007	あいち海上の森センター	A4 1P 日本語 2007 発行
東海シニア自然大学 受講生募集	2007	特定非営利活動法人東海自然学園	A4 4P 日本語 2007 発行
発見! 「次世代に残したい、名古屋の自然」	2007	特定非営利活動法人東海自然学園	A4 1P 日本語 2007 発行
ウッドマイルズレポート	2007	ウッドマイルズ研究会	A4 1P 日本語 2007.6.13 発行
ウッズマイルズ研究会	2007	ウッドマイルズ研究会	A4 1P 日本語 2006 発行
イベント案内 パークセンター キャンドルナイト	2007	国立木曽三川公園 アクアワールド 水郷パークセンター	A4 4P 日本語 2007 発行
雑木林 2007年 12月号 Vol.205	2007	豊田市自然観察の森	A4 4P 日本語 2007 発行
会報 あべまき 秋の号/2007.11.17 発行	2007	豊田市自然観察の森・森先案内人 あべまきの会	A4 4P 日本語 2007 発行
あいち自然ネット (あいち自然環境団体・施設連絡協議会) に参加しませんか!	2007	「あいち自然環境団体・施設連絡協議会」設立準備会	A4 1P 日本語 2007 発行
平成 19 年度 東海地域 鳥獣害対策シンポジウム 複雑・多様化する野生鳥獣の被害問題にどう取り組むか	2007	岐阜大学・応用生物科学部・野生動物救護センター、農林水産省東海農政局	A4 1P 日本語 2007 発行
平成 19 年度 東海地域 鳥獣害対策シンポジウム 複雑・多様化する野生鳥獣の被害問題にどう取り組むか	2007	岐阜大学・応用生物科学部・野生動物救護センター、農林水産省東海農政局	ポスター 日本語 2007 発行
SANCTUARY NATURE CENTER	2007	サンクチュアリネイチャーセンター	A4 三つ折 1P 日本語 2007 発行
定光寺ほたるの里	2007	定光寺ほたるの里の会	A5 1P 日本語 2007 発行
定光寺ほたるの里 案内図	2007	定光寺ほたるの里の会	A5 1P 日本語 2007 発行
ほたる通信 No.3	2007	定光寺ほたるの里の会	A4 1P 日本語 2007 発行
信州省エネコンテスト 実践の手引き	2007	特定非営利活動法人みどりの市民	A4 6P 日本語

			2007 発行
究極のカレーライスづくり+スライドショーづくり	2007	NPO 法人はっくるべりーじゃむ	A4 1P 日本語 2007 発行
小学生のための特別授業 地球温暖化防止スペシャルスクール	2007	チーム・マイナス6% (環境省)	DVD 1P 日本語 2007 発行
小学生のための特別授業 地球温暖化防止スペシャルスクール サポート・ノート 地球温暖化ってなに？	2007	チーム・マイナス6% (環境省)	B5 24P 日本語 2007 発行
平成 19 年度 福祉のまちづくりリーダー養成講座 受講者大募集	2007	社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会・名古屋市	A4 6P 日本語 2007 発行
北米の森で感じたこと ～写真家・大竹英洋の世界～	2007	立教大学ESD研究センター	A 3ポスター 日本語 2007 発行
がらぼうだより vol.138 2007年12月	2007	NPO 法人ガラ紡愛好会	B4 1P 日本語 2007 発行
流れを変える 環境市民リーフレット	2007	特定非営利活動法人環境市民	A 4 6P 日本語 2007 発行
「循環型社会」領域シンポジウムー物質循環による地球環境問題の解決に向けてー	2007	独立行政法人科学技術振興機構	A 4変形 1P 日本語 2007 発行
sustailight	2007	P l a s t i c F a c t o r y	はがき 1P 日本語 2007 発行
エコロビト vol.2	2007	特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会	A4 8P 日本語 2007 発行
TOHOKU EPO 通信 vol.3	2007	東北環境パートナーシップオフィス	A4 6P 日本語 2007 発行
「バナナでつくろう地球の布」展覧会およびフォーラム	2007	多摩美術大学	A4 1P 日本語 2007 発行
独立法制法人環境再生保全機構	2007	独立法制法人環境再生保全機構	A4 14P 日本語 2007 発行
名チャリプロジェクト	2007	名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻環境政策論講座 竹内研究室	A4 14P 日本語 2007 発行
名チャリ、スタート。～みんなで自転車シェアリング～	2007	名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻環境政策論講座 竹内研究室	A3 ポスター日本語 2007 発行
財団法人環日本海環境協力センター	2007	財団法人環日本海環境協力センター	A4 8P 日本語 2007 発行
ひとつの地球 ひとつの生命	2007	環境 NPO 法人みどりの市民	A4 三つ折 1P 日本語 2007 発行
グリーンハーバー NO.10	2007	NPO 法人みどりの市民事務局	A4 8P 日本語

			2007 発行
地球環境基金	2007	独立法制法人環境再生保全機構	A4 14P 日本語 2007 発行
地球環境基金便り NO.24	2007	独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金部	A4 16P 日本語 2007 発行
平成 20 年度地球環境基金助成金募集	2007	独立行政法人環境再生保全機構	A4 36P 日本語 2007 発行
トヨタ紡織レポート 2007	2007	トヨタ紡績株式会社	A 4 94P 日本語 2007 発行
三井物産 CSR リポート	2006	三井物産	A4 52P 日本語 2006.12 発行
NIPPON STEEL 2007 環境・社会報告書	2007	新日本製鐵	A4 61P 日本語 2007.9 発行
2006 年度版エコレポート	2007	株式会社山田組	A4 12P 日本語 2007.7.1 発行
イオンコミュニケーションレポート 環境・報告書	2007	イオン株式会社	A4 46P 日本語 2007.5.11 発行
環境報告書 2007	2007	独立行政法人環境再生保全機構	A4 52P 日本語 2007.9 発行
momo 通信 vol.6	2007	コミュニティ・ユース・バンク momo	A4 8P 日本語 2007 発行
日本国際ボランティアセンター リーフレット	2007	日本国際ボランティアセンター	A 4 4P 日本語 2007 発行
ボラみみ 2007 December No.93	2007	(特定)ボラみみより情報局	B 5 14P 日本語 2007.12.1 発行
「まちと交通」21号	2007	(財)豊田都市交通研究所	A4 4P 日本語 2007 発行
国道 153 号道路交通状況予報提供の効果検証調査モニター募集に関するお知らせ	2007	(財)豊田都市交通研究所	A4 1P 日本語 2007 発行
ボランティア入門講座	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4 1P 日本語 2007 発行
ぼらんぼ vol.53	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4 8P 日本語 2007 発行
PROJECT REPORT 2007winter NO.50	2007	国土交通省中部地方整備局 東海幹線道路調査事務所	A4 14P 日本語 2007 発行
子どもたちの明日 Children, Our Future	2007	特定非営利活動法人幼い難民を考える会	A4 8P 日本語 2007 発行
給食募金 ご協力ください	2007	特定非営利活動法人幼い難民を考える会	A4 1P 日本語 2007 発行

CYR カレンダー2008 「カンボジアの子どもたち」	2007	特定非営利活動法人幼い難民を考える会	A4 1P 日本語 2007 発行
2008 年度東京事務所、インターン募集	2007	特定非営利活動法人幼い難民を考える会	A4 1P 日本語 2007 発行
Kids' AU 子どもたちのアジア連合 アジアの平和をめざして	2007	Kids' AU 子どもたちのアジア連合本部事務局	A4 1P 日本語 2007 発行
パートナーシップ・サポートセンター 事業案内	2007	NPO 法人パートナーシップ・サポートセンター (PSC)	A4 1P 日本語 2007 発行
環境 NGO 活動発展のための組織運営講座 組織運営の協働のコツ ABC	2007	独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金	A4 1P 日本語 2007 発行
ボランティアコーディネートの「困ったモンダイ」を攻略せよ	2007	なごやボランティア・NPOセンター 特定非営利活動法人ボラみみより情報局	A4 1P 日本語 2007 発行
犬山市民活動支援センター しみんてい ニュース vol.32	2007	(特定) 犬山市民活動支援センターの会	A 4 6P 日本語 2007.12.15 発行
市民活動交流フォーラム 2007 子どもにとっての宝物って何だろう？	2007	(特定) 犬山市民活動支援センターの会	A4 1P 日本語 2007 発行
平成 19 年版 こども環境白書	2007	環境省	A 4 46P 日本語 2007 発行
るたりではじめる「環のくらし」 ECO-LUXE STYLE BOOK 4	2007	環境省	B 5 20P 日本語
第 3 回 都道府県、主要市における NPO との協働環境に関する調査報告書	2007	I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]	A 4 60P 日本語 2007.11 発行
持続可能な地域社会をつくる 日本の環境首都コンテスト 2007 質問票	2007	環境首都コンテスト全国ネットワーク	A4 208P 日本語 2007 発行
公園の自然探検 vol.1 登呂公園	2007.3	NPO 法人富士の国・学校ビオトープ	A4 20P 日本語 2007 発行
公園の自然探検 vol.2 安東二丁目公園	2007.3	NPO 法人富士の国・学校ビオトープ	A4 16P 日本語 2007 発行
公園の自然探検 vol.3 小鹿モデル児童遊園	2007.3	NPO 法人富士の国・学校ビオトープ	A4 16P 日本語 2007 発行
公園の自然探検 vol.4 宮西公園	2007.3	NPO 法人富士の国・学校ビオトープ	A4 16P 日本語 2007 発行
日経エコロジー eco January 2007	2007	日経 BP 社	A4 174P 日本語 2007.12.17 発行
日経エコロジー ECO Products Guide 2008	2007	日経 BP 社	A4 98P 日本語 2007.12.8 発行